

平成25年度 形質転換植物デザイン研究拠点 共同利用・共同研究課題一覧(全31件)

	代表研究者	代表研究者所属	研究課題名
1	久保山 勉	茨城大学農学部	アサガオの開花関連遺伝子の探索と解析
2	武宮 淳史	九州大学 大学院理学研究院	青色光による気孔開口のシグナル伝達機構の解明
3	古本 強	龍谷大学文学部 農学研究所	HOS1-ICE1複合体とPIF4の結合の可能性を検討する逆遺伝学的解析
4	綿引 雅昭	北海道大学 大学院理学研究院	ジャガイモにおけるオーキシン応答機構の解明
5	松下 智直	九州大学 大学院農学研究院	フィトクロムBによる選択的スプライシング制御を仲介する新奇SR蛋白質RRC1の相互作用因子の探索
6	飯田 秀利	東京学芸大学 教育学部	植物の低温シグナル伝達におけるカルシウムイオンの役割に関する分子機構の解明
7	多田 安臣	香川大学 総合生命科学研究センター	サリチル酸合成系を制御する転写因子群の特徴付け
8	園木 和典	弘前大学 農学生命科学部	糖化性の高い植物の分子育種を目指した改良型リグニン分解酵素遺伝子の作出
9	青木 考	大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科	マイクロトム細胞タイプ特異的レポーター系統の開発
10	杉本 貢一	京都大学 生態学研究センター	トマトがもつ恒常的ジャスモン酸シグナルに関与する遺伝子の改変
11	板井 章浩	鳥取大学 農学部	果実の単為結果性に関わる遺伝子の探索と機能解析
12	梅原 三貴久	東洋大学 生物科学部	マイクロトムの変異誘発系統からストリゴラクトン欠損変異体の探索
13	寺地 徹	京都産業大学 総合生命科学部	マイクロトムを用いたトマトの葉緑体形質転換技術の確立
14	中村 郁郎	千葉大学 大学院園芸学研究科	トマト改変GAI遺伝子を用いた多収性トマト形質転換体の作出
15	児玉 豊	宇都宮大学 バイオサイエンス教育研究センター	簡便かつ高効率なゼニゴケ形質転換技術の確立
16	佐藤 長緒	北海道大学 大学院理学研究院	14-3-3タンパク質を介した植物栄養素代謝ネットワークの解析
17	中野 雄司	理化学研究所 基幹研究所	ブラシノステロイド情報伝達遺伝子群の形質転換によるトマトへの有用形質の導入
18	中川 強	島根大学 総合科学研究支援センター	ナス科作物をホストとした複数遺伝子導入システムの開発
19	小関 良宏	東京農工大学 大学院工学研究院	環境ストレス耐性遺伝子組換えイモ類の作出
20	泉井 桂	近畿大学 先端技術総合研究所	C4ミニサイクルのC3植物(トマト)への導入による光合成能力の増強
21	田茂井 政宏	近畿大学 農学部	二酸化炭素固定能力を強化した植物の実用利用開発

	代表研究者	代表研究者所属	研究課題名
22	松永 悦子	日本製紙株式会社 アグリ・バイオ研究所	耐塩性ユーカリの特定網室での栽培試験
23	寺川 輝彦	北興化学工業株式会社 開発研究所	花生殖器官を改変した形質転換シクラメンの生物多様性影響評価
24	河岡 明義	日本製紙株式会社 アグリ・バイオ研究所	耐冷性遺伝子組換えユーカリの隔離圃場栽培試験
25	間 竜太郎	農業・食品産業技術総合研究機構 花き研究所	遺伝子組換え青色キクの実用化に向けた生物多様性影響評価における形質転換植物評価技術に関する研究
26	加賀 秋人	農業生物資源研究所 ダイズゲノム育種研究ユニット	遺伝子組換えダイズの導入遺伝子環境拡散リスク評価モデルの精緻化
27	上中 弘典	鳥取大学 農学部	網羅的遺伝子解析による野生植物と菌根菌の生物間相互作用メカニズムの解明
28	高根 健一	株式会社インプランティノベーションズ	第1種使用申請に向けての遺伝子組換えトマトの特定網室での形質評価に関する研究
29	佐々 義子	NPO法人くらしとバイオプラザ21	メディアガイドラインの運用と改善
30	真山 武志	NPO法人くらしとバイオプラザ21	遺伝子組換え作物の実践的なリスクコミュニケーション研修ーバイオ・カード・ゲーム(BCG)によるー
31	仁田坂 英二	九州大学 大学院理学研究院	転移酵素遺伝子導入による江戸期の変化朝顔誕生の再現を通じた遺伝子組換え技術の国民的理解の促進